

エコアクション21

環境経営レポート



UFOライン（町道瓶ヶ森林道）除雪状況
2024年 3月
高知県吾川郡いの町寺川

発行2024年 11月 30日

有限会社 手箱建設

2023年版 環境経営レポート

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日、主な環境負荷の実績
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営活動への取組の全体概要
6. 環境経営目標
7. 環境経営活動計画
8. 環境経営目標の実績
9. 環境経営活動計画の取組結果とその評価
10. 次年度の取組内容（環境経営目標及び達成手段）
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
12. 代表者による全体評価と見直しの結果
13. その他の取組

発行日：2024年11月30日

発行責任者：環境管理責任者 西峯 一志

次回発行予定：2025年11月頃



1. 組織の概要

【事業所名】 有限会社 手箱建設

【代表者氏名】 代表取締役 山本 周児

【所在地】

本社 高知県吾川郡いの町戸中 8 1 - 5
高知営業所 高知県高知市中水道 1 1 - 2
大森倉庫 高知県吾川郡いの町大森 9 1 - 9

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 総合技術主任 西峯 一志
連絡先担当者 事務係 山中 ゆかり
連絡先 TEL: 088-869-2311
FAX: 088-869-2310
E-mail: t.hamada@tebako.co.jp

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業(主に土木工事を行っています。)

建設業許可

- ①許可番号 高知県知事(特-2)第676号
許可年月日 令和 3年 1月23日
建設業の種類 土木工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業
舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業
解体工事業
- ②許可番号 高知県知事(般-2)第676号
許可年月日 令和 3年 1月23日
建設業の種類 建築工事業、管工事業、造園工事業、さく井工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和42年 7月17日
資本金 2,000万円

	2020年度 2020.9~2021.8	2021年度 2021.9~2022.8	2022年度 2022.9~2023.8	2023年度 2023.9~2024.8
製品生産量・出荷額(売上高) (万円)	63,088	94,492	56,137	77,057
従業員数 (名)	31	33	33	30
事業所敷地面積 (m ²)	4,170	4,170	4,170	4,170
事業所延べ床面積 (m ²)	676	676	676	676

従業員数は 8月31日現在

【会計年度】 9月 ~ 8月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

有限会社 手箱建設

本社	高知県吾川郡いの町戸中 8 1 - 5	(常駐者: 1 名)
高知営業所	高知県高知市中水道 1 1 - 2	(常駐者: 2 名)
大森倉庫	高知県吾川郡いの町大森 9 1 - 9	(常駐者: 1 名)

対象事業: 土木工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業
ほ装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業
建築工事業、管工事業、造園工事業、さく井工事業
解体工事業

【レポートの対象期間】

2023年 9月～2024年 8月

【環境経営レポートの発行日】

2024年11月30日

【主な環境負荷の実績】

項 目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	285,830	211,300	234,218	249,525
廃棄物総排出量	t	1,018	854	770	781
（内訳）一般廃棄物排出量	t	289	328	215	270
（内訳）産業廃棄物排出量	t	729	526	555	511
総排水量	m3	125	123	119	140

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.411 kg-CO2/kwh

【作成責任者】

環境管理責任者

西峯 一志

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を		高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに		環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう	○	緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

有限会社手箱建設は、高知県吾川郡いの町で土木関係の建設工事を行っています。

私たちは、世界の人々が笑って暮らしてゆける未来のために、CO₂吸収減である森・山を守り育て、常に『地球環境』を意識しながら継続的改善による環境経営を行っています。

【基本方針】

1. 建設工事におけるあらゆる場面において、景観・生物多様性に配慮し、地球にやさしい環境負荷の少ない工事（設計、施工）を行います。
2. トラック・重機・車輛の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
3. 事務所・現場における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
4. 建設工事及び事務所における廃棄物発生量の削減、再利用及びリサイクルを行います。
5. 事務所における水使用量の削減により排水量を削減します。
6. 建設現場における化学物質排出について配慮します。
7. 事務用品及び調達資材のグリーン購入を推進します。
8. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
9. ロードボランティア等、環境美化活動を積極的に行います。
10. 環境経営方針は広く従業員に周知徹底します。
11. 環境経営レポート等環境情報について広く外部公表いたします。

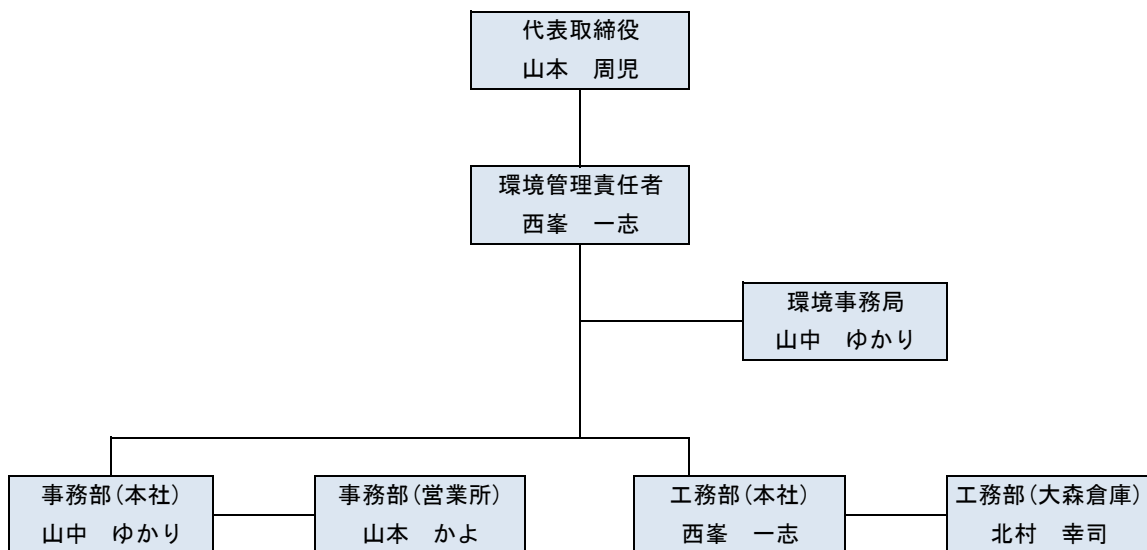
制定： 2011年 8月10日

改定： 2019年 7月20日

有限会社 手箱建設

代表取締役 山本 周児

4. 環境管理組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・ 代表者による全体評価と見直し実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理	・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの確認
環境事務	・ 環境管理責任者の補佐 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・ 環境活動の実績集計 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版該当なし ・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成、公開
部門長	・ 自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・ 自部門に関係する環境経営計画の実施、達成状況報告 ・ 自部門に関係する緊急事態訓練の実施 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

○環境経営目標に対して概ね達成することができました。グリーン購入量のみ未達成となりました。

○化石燃料の使用量は目標を達成できており取組の効果が見られます。軽油使用量は基準年以降、大幅に削減できており効果が出ています。今年度は、環境に配慮した重機を3台更新しました。また、環境経営目標に対して達成率が92%と二酸化炭素排出量の削減ができました。原単位においても抑えることができました。今後も古くて燃費が悪い建設・一般車両は適当な時期に新車に入れ替え、低排出ガス車両の使用並びに燃費削減で環境負荷の軽減を図ります。

また、エコ運転の推奨など環境教育も引き続き継続します。

○電気料使用量は前年度より大幅な削減が実現できており、太陽光発電パネルの設置による発電量の使用が省エネに繋がっていると考えられます。今年度は約4,750kWhの太陽光発電を利用することができました。電力の消費量は1,2月の冬季が最も多くなっており夏場の約1.5~2.5倍となっていますが、これからも環境活動を継続して行い二酸化炭素の排出を抑えるよう努力します。

○一般廃棄物は目標を達成はできませんでしたが、やはり紙ごみの排出量が多く、ミスコピーを減らす努力や裏紙使用の励行などで削減努力を継続して行います。

○産業廃棄物は目標を達成出来ました。再資源化率は目標に対し100%でした。

○原単位目標に対しては全ての項目で目標を達成することが出来ました。

○グリーン購入量についてはなかなか目標を達成することは難しいですが、今後も取捨選択を行い購入努力を継続します。

○環境負荷の少ない工事への取組は施工計画の段階で的確に計画され、環境への配慮が行われています。

○環境美化活動としては、管轄地域において予定通りロードボランティア活動が実施できました。

<有限会社手箱建設の物質フロー> (2023年度)

<INPUT>

有限会社手箱建設の事業活動

<OUTPUT>

燃料 98,859 L →

電力 28,768 kWh →

用水 140m³ →

原材料 6,377 t →



→ CO₂ 249,525 kg - CO₂

→ 排水 140m³

→ 廃棄物 511 t

6. 環境経営目標

(1) 単年度目標 (2023年度)

期間：2023年 9月 ～ 2024年 8月

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度 2020.9-2021.8	2023年度 目標 2023.9-2024.8
売上高		百万円	631	500
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	22,410	21,800
	原単位	(ℓ/百万円)	35.5	43.6
軽油使用量	総量	(ℓ)	85,290	84,600
	原単位	(ℓ/百万円)	135.2	169.2
電力使用量	総量	(kWh)	33,554	29,000
	原単位	(kWh/百万円)	53.2	58.0
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	285,830	280,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	453.0	560.0
用水使用量	総量	(m ³)	125	119
	原単位	(m ³ /百万円)	0.20	0.24
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	289	270
	原単位	(kg/百万円)	0.46	0.54
産業廃棄物排出量	総量	(t)	729	700
	原単位	(t/百万円)	1.16	1.40
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.97	99.0
グリーン購入	総量	(%)	57.0	70.0
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (141/141)	100 (全件)
環境美化活動	総量	(回)	11	11

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(2021年度実績)

(令和3年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数(0.411kg-CO₂/kWh)を使用した。

* 2. グリーン購入量は、事務用品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

* 3. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

○濁水防止対策の実施

* 4. 環境負荷の少ない工事の基準値

環境負荷の少ない工事=環境負荷の少ない工事実施件数(件)/総工事件数(件)

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2020年度 実績（基準年）	2021年度 目標	2022年度 目標	2023年度 目標
売上高		百万円	631	500	500	500
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	22,410	22,200	22,000	21,800
	原単位	(ℓ/百万円)	35.5	44.4	44.0	43.6
軽油使用量	総量	(ℓ)	85,290.0	85,000	84,800	84,600
	原単位	(ℓ/百万円)	135.2	170.0	169.6	169.2
電力使用量	総量	(kWh)	33,554	32,000	30,500	29,000
	原単位	(kWh/百万円)	53.2	64.0	61.0	58.0
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	285,830	284,000	282,000	280,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	453.0	568.0	564.0	560.0
用水使用量	総量	(m ³)	125	123	121	119
	原単位	(m ³ /百万円)	0.20	0.25	0.24	0.24
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	289	280	275	270
	原単位	(kg/百万円)	0.46	0.56	0.55	0.54
産業廃棄物排出量	総量	(t)	729	700	700	700
	原単位	(t/百万円)	1.16	1.40	1.40	1.40
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.97	99.0	99.0	99.0
グリーン購入	総量	(%)	57.0	70.0	70.0	70.0
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (141/141)	100 (全件)	100 (全件)	100 (全件)
環境美化活動	総量	(回)	11	11	11	11

項目	総量・原単位	単位	2024年度 目標
売上高		百万円	500
燃料使用量			
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	21,600
	原単位	(ℓ/百万円)	43.2
軽油使用量	総量	(ℓ)	84,400
	原単位	(ℓ/百万円)	168.8
電力使用量	総量	(kWh)	27,500
	原単位	(kWh/百万円)	55.0
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	278,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	556.0
用水使用量	総量	(m ³)	117
	原単位	(m ³ /百万円)	0.23
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	265
	原単位	(kg/百万円)	0.53
産業廃棄物排出量	総量	(t)	700
	原単位	(t/百万円)	1.40
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.0
グリーン購入	総量	(%)	60.0
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (全件)
環境美化活動	総量	(回)	11

7. 環境経営活動計画 (2023年度)

期間：2023年 9月 ～ 2024年 8月

項 目		活動内容	備 考	
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○重機、車両のアイドリングストップ		
		○車両の急発進・急停止・急加速の禁止		
		○燃費の良い車両の使用		
		○重機はフル運転しない。	エコモード運転等	
		○タイヤの空気圧チェック		
		○タイヤの磨耗チェック、交換		
		○エコタイヤの使用		
		○車のエアコンの使用の抑制	夏場以外はエアコンの使用を極力抑制	
		○できるだけ相乗りで行く		
		○車の利用はできるだけまとめて行う		
		○近場へ行く時は、徒歩又は自転車を利用		
		○最短経路の車の利用		
	電力使用量 削減	○昼休み・帰宅時の消灯		
		○不要照明の消灯	人がいない場所の消灯	
		○照明のLED化	本社・集会場	
		○残業時等は室内照明を最上限に留める		
		○不使用時のパソコンの電源OFF		
		○事務所でクールビズ・ウォームビズの推進	・クールビズ	
			エアコン温度設定：28℃	
			服装：涼しい服装 (現場に出る際に長袖着用)	
			・ウォームビズ	
			エアコン温度設定：20℃以下	
			服装：暖かい服装 (上着の着用や膝掛けの使用)	
			○扇風機を使ってエアコンの空気を循環させる。	
			○エアコンは自動運転で運転し、風向きは夏は水平、冬は下向きに設定する。	
		○エアコンフィルターの定期的な清掃 冬場使用の前に室外機周りの清掃		
			○夏場は気温の程度に応じてエアコン使用を控え扇風機を利用する。	
		○夏場のブラインド等使用による冷房負荷削減		
用水使用量削減 (排水量削減)		○節水シール貼付による啓発		
		○定期的な漏水チェック		
		○工事に雨水、自然水(河川水等)利用		
		○食器等のまとめ洗い		
		○使用済みの残り水の利用(樹木への散水等)		
		○車両の洗車に自然水(谷水等)利用		

※各部門長は自部門の従業員に環境経営計画を周知し、それぞれの項目毎に目標達成できるよう取り組む。

項 目		活動内容	備 考
廃棄物削減	一般廃棄物	○ゴミの分別徹底	
		○コピー用紙の裏紙使用	
		○両面コピー、縮小コピーの実施	
		○印刷前の文章チェック	
		○FAXは、必要なものだけ印刷する。	
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別徹底	
		○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。	
		○材料取りを効率的に行い、端材の発生量を抑制する。	
		○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理実施	
		○工事用図面は、印刷したものでなくパソコン等を利用し、紙の枚数削減	
グリーン購入		○エコマーク、グリーンマーク商品を選定して購入	
		○詰め替え商品の購入	
化学物資排出量削減		○化学物質とならない材料の選定	
		○事前に使用量を確認し、無駄な使用はしない	
		○化学物資使用量削減の為の工法検討実施	
環境負荷の少ない工事		○環境負荷の少ない材料の使用	リサイクル材、県産品等の使用
		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	
		○型枠、工事看板への間伐材の使用	
		○濁水防止対策の実施	
		○環境に配慮した施工や工法の検討	
		○創意工夫の提案	
環境美化活動		○ロードボランティアへの参加	
		○地域の清掃活動に参加	

※各部門長は自部門の従業員に環境経営計画を周知し、それぞれの項目毎に目標達成できるよう取り組む。

8. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度 2020.9-2021.8	2023年度 目標 2023.9-2024.8	2023年度 実績 2023.9-2024.8	実績値／目標値 (%)	評価
売上高		百万円	631	500	771		
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	22,410	21,800	21,273	98	○
	原単位	(ℓ/百万円)	35.5	43.6	27.6	63	○
軽油使用量	総量	(ℓ)	85,290	84,600	77,586	92	○
	原単位	(ℓ/百万円)	135.2	169.2	100.6	59	○
電力使用量	総量	(kWh)	33,554	29,000	28,768	99	○
	原単位	(kWh/百万円)	53.2	58.0	37.3	64	○
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	285,830	280,000	249,525	89	○
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	453.0	560.0	323.6	58	○
用水使用量	総量	(m ³)	125	119	140	118	×
	原単位	(m ³ /百万円)	0.20	0.24	0.18	76	○
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	289	270	270	100	○
	原単位	(kg/百万円)	0.46	0.54	0.35	65	○
産業廃棄物排出量	総量	(t)	729	700	511	73	○
	原単位	(t/百万円)	1.16	1.40	0.66	47	○
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.97	99.0	98.8	100	○
グリーン購入量	総量	(%)	57.0	70.0	43.0	55	×
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (141/141)	100 (全件)	100 (153/153)	100	○
環境美化活動	総量	(回)	11	11	11	100	○

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数（2021年度実績）

（令和3年1月7日公表）の四国電力の調整後排出係数（0.411kg-CO₂ / kWh）を使用した。

* 2. グリーン購入量は、事務用品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）

* 3. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

○濁水防止対策の実施

* 4. 環境負荷の少ない工事の基準値

環境負荷の少ない工事＝環境負荷の少ない工事実施件数（件）／総工事件数（件）

* 5. 評価は、「○」、「△」、「×」で評価する。

<環境経営目標未達成等理由>

用 水 使 用 量：今年度は30℃以上の気温上昇日が続き、熱中症予防のため水分補給等による上水使用量が増えた。

グリー ン 購 入 量：事務器具や企業商品についてはグリーン対応の代替商品がないため選択肢が無いことが要因であるが、今後も購入努力を続ける。

作成日：2023年8月31日

[illegible]

方針	目標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる) (食育の自己チェックで特定した項目)	目標達成手段 (取組の自己チェックで◎をつけた項目)	責任部門 責任者 (担当者)	スケジュール												取組実績 (計)	定期的な確認・評価・是正(挽回策)
				9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
建設副産物の再資源化率の向上	建設副産物	分別の徹底	工務部 西澤													3ヶ月目標達成。	
	基準年度実績															1/4 中期	
	2020 年	100%														6ヶ月目標達成。	
	2023 年度目標	100%														中期	
																3/4 中期	
水連水の削減	2024 年度目標	100%														最終四半期目標達成。	
	2025 年度目標	100%														総括	
																一部再資源化は出来なかったが、全体を通してほぼ100%近く再資源化することが出来た。	
																工事現場から再資源化できないプラスチックが発生した。	
																猛暑日が続き、熱中症防止のため上水の使用量が増えた。	
水使用量削減	基準年度実績															上半期	
	2020 年	125 m ³														下半期	
	2023 年度目標	95%														上半期	
	削減率	-5%														下半期	
	目標値	119 m ³														総括	
グリーン購入の推進	2024 年度目標	116														年間目標値を約18%上回った。	
	2025 年度目標	114														総括	
																猛暑日が続き、熱中症防止のため上水の使用量が増えた。	
																目標値の70%には届かなかった。	
																前期	
環境に配慮した工場の推進	2023 年度目標	70%														必要とする事務用品にエコ商品及びリサイクル商品が無いため目標値に届くことができなかった。次年度から目標値を見直す必要がある。	
	購入量															総括	
																工事現場でリサイクル材使用、重機の省エネ運転、また周囲環境に配慮した施工を心掛けている。	
																全体をとおして、二酸化炭素排出を抑え地球温暖化を防ぐ行動に働いている。また周囲の環境を守る施工をおこなっている。	
																目標回数より多く環境美化活動を行っている。	
環境美化活動																	
課題を解決しチャレンスを活かす取組	一般教育																
	幹部教育																
	特別教育																
	緊急事態対応訓練																
	環境関連法規等の遵守評価																
年間活動計画	代表者による全体の評価と見直し																
	環境経営レポート																
	審査申し込み																

3ヶ月ごとに確認し、累計評価欄が×の場合は是正策として達成手段を追加する
環境管理責任者は必要に応じて指示を行う
代表者は環境管理責任者の報告を受け必要に応じて指示をする

保管：環境事務局

計画：○(点線) 実績：●(実線)

9. 環境経営計画の取組結果とその評価

(2023年度)

期間： 2023 9月 ～ 2024年 8月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
CO2 排出量削減	燃料使用量削減	○重機、車両のアイドリングストップ ○車両の急発進・急停止・急加速の禁止 ○燃費の良い車両の使用 ○重機はフル運転しない。(エコモード運転) ○タイヤの空気圧チェック ○タイヤの磨耗チェック、交換 ○エコタイヤの使用 ○車のエアコンの使用の抑制 (夏場以外はエアコンの使用を極力抑制) ○できるだけ相乗りで行く ○車の利用はできるだけまとめて行う ○近場へ行く時は、徒歩又は自転車を利用 ○最短経路の車の利用	各項目、取組が出来た。	・各車両・重機の管理担当者による点検と車両等修理票による日々の維持が効果的に出来ている。 ・乗り合わせでCO2 排出量の削減に努めている。	見直しは無し
	電力使用量削減	○昼休み・帰宅時の消灯 ○不要照明の消灯 (人がいない場所の消灯) ○照明のLED化 (場所：本社・集会場) ○残業時等は室内照明を最小限に留める ○不使用時のパソコンの電源OFF ○事務所内でクールビズ・ウォームビズの推進 ・クールビズ エアコン温度設定：28℃ 服装：涼しい服装 (現場に出る際に長袖着用) ・ウォームビズ エアコン温度設定：20℃以下 服装：暖かい服装 (上着の着用や膝掛けの使用) ○扇風機を使ってエアコンの空気を循環させる。 ○エアコンは自動運転で運転し、風向きは夏は水平、冬は下向きに設定する。 ○エアコンフィルターの定期的な清掃 冬場使用の前に室外機周りの清掃 ○夏場は気温の程度に応じてエアコン使用を控え扇風機を利用する。 ○夏場のブラインド等使用による冷房負荷削減 ○節水シール貼付による啓発 ○定期的な漏水チェック ○工事に雨水、自然水 (河川水等) 利用 ○食器等のまとめ洗い ○使用済みの残り水の利用 (樹木への散水等) ○車両の洗車に自然水 (谷水等) 利用	・習慣化され取組が出来た。 ・本社及び集会場の照明LED化が完了した。 ・全般的に意識して取組が出来た。 ・エアコンがただ付けっ放しにならないように、体感温度を意識しながらオンオフの調整ができた ・夏場は扇風機などでエアコン使用を抑えた。	・日々の習慣化で効果あり ・照明のLED化が完了し、今後、電力量の削減に期待できる。 ・全般的に意識して取り組んでいる。 ・冬場のエアコン使用料が多くを占めているので、これからも小さめに温度調整を図りながら削減に努める。 ・夏場は扇風機の利活用でエアコンの使用量を抑えられた。	現状のまま継続
用水使用量削減 (排水量削減)			各項目、取組が出来た。	これまで通り取組による成果が出ており一定の使用量を推移している。	必要無し

項目	活動内容	取組結果	評価	見直し
廃棄物削減	一般廃棄物	○ゴミの分別徹底 ○コピー用紙の裏紙使用 ○画面コピー、縮小コピーの実施 ○印刷前の文章チェック ○FAXは、必要なものだけ印刷する。	・分別徹底を行い紙の再利用や再資源化に取り組んだ。 ・裏紙の再利用が出来ている。	変更はなし。削減に向けてより一層努めること
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別徹底 ○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。 ○材料取りを効率的に行い、端材の発生量を抑制する。 ○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理実施 ○工事用図面は、印刷したものでなくパソコン等を利用し、紙の枚数削減	・適正に処理され、取組が出来た。	必要無し
	グリーン購入	○エコマーク、グリーンマーク商品を選定して購入 ○詰め替え商品の購入	グリーン商品など選択肢のあるものは積極的に検討し購入している。	変更なし。今後も努力する。
	化学物質排出量削減	○化学物質とならない材料の選定 ○事前に使用量を確認し、無駄な使用はしない ○化学物質使用量削減のための工法検討実施	着手時の使用材料の検討で取組が行えた。	必要無し
	環境負荷の少ない工事	○低騒音、排出ガス対策型機械の使用 ○環境負荷の少ない材料（リサイクル材）の使用 ○使用機械の整備を行い、長く設備を使用する ○省エネ活動による燃料等使用量削減 ○環境に配慮した施工や工法の検討 ○創意工夫の提案	施工担当者が施工段階より検討・計画が出来ており効果的に取り組んでいる。	変更なし。
環境美化活動	○ロードボランティアへの参加 ○地域清掃活動への参加	・積極的に実施出来た。	計画通りに実行出来た。	必要無し。今後も努力する。

9-2. 具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



低騒音、排出ガス対策型重機の購入

2024年8月にバックホウを2台購入しました。
環境に配慮された最新機種なのでCO₂排出量の削減が期待できます。



低騒音、排出ガス対策型重機の購入

2024年8月に振動ローラーを1台購入しました。
環境に配慮された最新機種なのでCO₂排出量の削減が期待できます。



急発進・急加速・急停止の禁止

2011年9月に社用車内に「急発進・急加速・急停止の禁止」のシールを貼付、燃料使用量削減の啓発を行っています。



重機のエコモード運転の徹底

2011年9月に全ての重機に「エコモード運転の徹底」のシールを貼付、燃料使用量削減の啓発を行っています。



車の相乗りの徹底

工事現場へ行く時は必ず相乗りで現地に行き、社用車の燃料使用量削減に努めています。

(2) 電力使用量削減



本社事務所及び集会場 照明のLED化

(2012年 5月設置)

今年度、本社及び集会場の照明灯の蛍光灯からLED化が完了しました。



昼休みの消灯

本社事務所の照明を昼休み(12時~13時)消灯し、節電に努めています。



本社事務所屋上 太陽光パネル設置(太陽光発電(13.80kW)導入)

(2021年 10月設置)

本社事務所屋上部分(地上2階3階部分)に太陽光パネルを設置し、自家発電を行い事務所の電気使用量を相殺しています。

2. 用水使用量の削減



節水シール貼付

(2011年9月設置)

本社事務所内の水道蛇口(3ヶ所)に節水シールを貼付け、啓発を計っています。

3. 廃棄物の削減

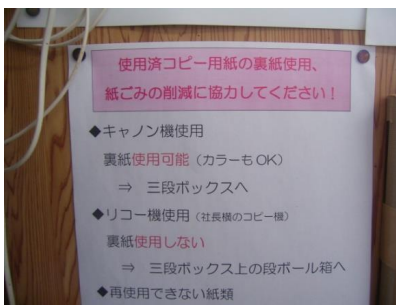
(1) 一般廃棄物の削減



不要紙ごみの分別の徹底

(分別箱: 2011年月設置)

本社事務所内紙ごみの分別箱を設置し、不要紙の再利用を行っています。



コピー用紙の裏紙使用、両面コピー

ミスコピー用紙は裏紙として使用し、また両面コピーを実施することによりコピー用紙の使用量を削減しています。

(2) 産業廃棄物



産業廃棄物分別の徹底

(分別置場: 2011年 9月設置)

産業廃棄物は有価物と廃棄物に分別し、産業廃棄物再資源化率が向上するように工事現場で努力しています。

4. グリーン購入



事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入

事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を優先的に購入しています。詰め替え商品を積極的に使用しています。

対象商品：コピー用紙、ファイル類、ノート類
ボールペン、シャープペン、洗剤等



5. 環境負荷の少ない工事



工事看板への高知県産間伐材の使用

工事名称：一の谷林地荒廃防止工事
(林地荒廃第109号)

工事期間：2024年3月22日 ～2024年12月20日

工事場所：高知県吾川郡いの町桑瀬

工事看板には高知県産間伐材を使用し、環境負荷低減に努めました。



環境に配慮した工事の施工

工事名称：家の谷川 砂防メンテナンス工事
(砂防(メ)第6-101-3号)

工事期間：2024年4月27日 ～2024年2月5日

工事場所：高知県吾川郡いの町長沢

谷の掘削工事において発生した濁水を一旦沈砂池に流し込み、泥を沈殿させ浄化した水を谷川に排出する措置を取り、水質汚濁防止に努めました。



IPH工法による工事施工

工事名称：道交第1-23-1号

四万十市道路橋（中通橋）修繕工事

（元請：（有）富山建設）

工事期間：2023年8月25日 ～ 2024年3月15日

工事場所：高知県四万十市片魚

橋梁（橋脚）のひび割れ修繕をIPH工法で施工することにより、コンクリート構造物を研らないため産業廃棄物の排出を抑制でき、また構造物の長寿命化が可能となることで環境負荷が少なくなります。

橋梁補修工事の需要が年々増加しています。

6. 環境美化活動



ロードボランティア活動

国道194号線等のロードボランティア活動を行い、道路の清掃活動やカーブミラー清掃を行いました。

（今年度14回実施）

10. 次年度の取組内容（環境経営目標及び達成手段）

毎年、代表者による見直しを踏まえて目標値及び達成手段を見直す。

作成日：2024年8月31日

更新日：

負荷の自己 チェック コア指標	環境方針 (ターゲット)	環境経営目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえて策定)	責任部門 責任者	基準値 (基準年度)	年度毎目標・達成手段 (取組の自己チェックを踏まえて策定)					
					2024	2025	2026	年度		
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量削減	事務部 山中 ゆかり	28,768 kWh 11,824 kg-CO ₂ 2023 年 二酸化炭素排出係数 0.411	LED照明による節電 不在時、電源OFFによる節電 空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃） クールビズ、ウォーミングアップの推進	99%	11,705 kg-CO ₂ 98%	不在時、電源OFFによる節電 空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃） クールビズ、ウォーミングアップの推進	97%	11,469 kg-CO ₂ 不在時、電源OFFによる節電 空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃） クールビズ、ウォーミングアップの推進
		自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	工務部 西峯 一志	ガソリン 軽油 21,273 l 77,586 l 2023 年	重機、車両のアイドリングストップ 急発進、急停止、急加速の禁止 重機のエコモード運転の徹底 車両相乗りの徹底	99%	247,030 kg-CO ₂ 98%	重機、車両のアイドリングストップ 急発進、急停止、急加速の禁止 重機のエコモード運転の徹底 車両相乗りの徹底	97%	242,039 kg-CO ₂ 重機、車両のアイドリングストップ 急発進、急停止、急加速の禁止 重機のエコモード運転の徹底 車両相乗りの徹底
廃棄物排出量	廃棄物の削減	一般廃棄物排出量の削減	事務部 山中 ゆかり	270 kg 2023 年	ごみの分別徹底 コピー用紙の真紙使用 印刷前の文書チェック	99%	267 kg 98%	ごみの分別徹底 コピー用紙の真紙使用 印刷前の文書チェック	97%	262 kg ごみの分別徹底 コピー用紙の真紙使用 印刷前の文書チェック
		産業廃棄物排出量の削減	工務部 西峯 一志	511 t 2023 年	産業廃棄物の分別徹底 産業再資源化業者への委託 材料の効率的使用（端材の減少） 図面等のペーパーレス化	99%	506 t 98%	産業廃棄物の分別徹底 産業再資源化業者への委託 材料の効率的使用（端材の減少） 図面等のペーパーレス化	97%	496 t 産業廃棄物の分別徹底 産業再資源化業者への委託 材料の効率的使用（端材の減少） 図面等のペーパーレス化
総排水量	節水	節水	事務部 山中 ゆかり	140 m ³ 2023 年	従業員に対する節水の啓発 工事現場では自然水使用の徹底 定期的な漏水チェック 食器等のまとめ洗い	99%	139 m ³ 98%	従業員に対する節水の啓発 工事現場では自然水使用の徹底 定期的な漏水チェック 食器等のまとめ洗い	97%	136 m ³ 従業員に対する節水の啓発 工事現場では自然水使用の徹底 定期的な漏水チェック 食器等のまとめ洗い
物質投入	グリーン購入	事務用品のグリーン購入	事務部 山中 ゆかり	比率 43 % 2023 年 エコ商品 比率= 全購入額	従業員に対する節水の啓発 工事現場では自然水使用の徹底 定期的な漏水チェック 食器等のまとめ洗い	102%	44 % 104%	従業員に対する節水の啓発 工事現場では自然水使用の徹底 定期的な漏水チェック 食器等のまとめ洗い	46 % 106%	従業員に対する節水の啓発 工事現場では自然水使用の徹底 定期的な漏水チェック 食器等のまとめ洗い
環境に配慮した生産	環境に配慮	環境に配慮した工事の推進	工務部 西峯 一志	100 % 2023 年	環境負荷の少ない材料の使用 低騒音、排出ガス対策型重機の使用 型枠、工事看板への間伐材の使用 漏水防止対策の実施	100%	100 % 100 %	環境負荷の少ない材料の使用 低騒音、排出ガス対策型重機の使用 型枠、工事看板への間伐材の使用 漏水防止対策の実施	100%	環境負荷の少ない材料の使用 低騒音、排出ガス対策型重機の使用 型枠、工事看板への間伐材の使用 漏水防止対策の実施
社会貢献	環境美化	環境美化活動	工務部 西峯 一志	10 回以上	環境負荷の少ない材料の使用 低騒音、排出ガス対策型重機の使用 型枠、工事看板への間伐材の使用 漏水防止対策の実施	100%	10 回以上 100%	環境負荷の少ない材料の使用 低騒音、排出ガス対策型重機の使用 型枠、工事看板への間伐材の使用 漏水防止対策の実施	10 回以上 100%	環境負荷の少ない材料の使用 低騒音、排出ガス対策型重機の使用 型枠、工事看板への間伐材の使用 漏水防止対策の実施

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1)環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果(法規)

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
	第12条	○産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	工事担当者	遵守	2024/8/31
	第12条の10、11項	○多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	工事担当者	遵守	2024/8/31
	第12条の三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	工事担当者	遵守	2024/8/31
	第12条の三7項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
	第14条	○産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可（5年毎に更新）	期限切れ 3ヶ月前	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
	第14条の一12項	○産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分表示、書面備付義務		工事担当者	遵守	2024/8/31
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
資源の有効な利用の促進に関する法律 （リサイクル法）	第4条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	工事担当者	遵守	2024/8/31
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	工事担当者	遵守	2024/8/31
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
騒音規制法	第5条	○騒音規制基準の遵守	必要時	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	工事担当者	遵守	2024/8/31
振動規制法	第5条	○振動規制基準の遵守	必要時	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	工事担当者	遵守	2024/8/31
大気汚染防止法 （解体工事）	第18条の15	○解体等工事受注者は、石綿使用の有無（全ての石綿含有建材）について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明する。	必要時	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
	第18条の17	○特定粉じん作業開始の14日前までに都道府県知事に届出 解体工事：床面積80m ² 以上 建築物改造：請負代金100万円以上		環境管理責任者	遵守	2024/8/31
	第18条の20	○特定工事の元請け業者若しくは下請け業者は特定粉じん排出作業において作業基準を遵守		工事担当者	遵守	2024/8/31
	第18条の22	○元請業者の下請に対する粉じん排出作業を適切に行うよう指導		工事担当者	遵守	2024/8/31
	第18条の23	○特定粉じん作業完了後、結果を遅滞なく発注者に書面で報告と記録の作成保管		工事担当者	遵守	2024/8/31
労働安全衛生法 （解体工事）	第88条	○解体工事の工事計画書を労働基準監督署長宛に提出（着工14日前までに）	必要時	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
	石綿則第5条	○建築物解体等作業届を労働基準監督署長宛に提出（作業前）	必要時	環境管理責任者	遵守	2024/8/31

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
消防法	第8条	○防火管理者の選任、消防計画の作成 (遅滞なく所轄消防長又は消防署長に届出)	必要時	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長 への許可 第1石油類 ガソリン：2,000ℓ 第2石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第3石油類 重油：2,000ℓ 第4石油類 潤滑油：6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
消防法	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	工事担当者	遵守	2024/8/31
	第17条の 3の2	○消防用設備等設置届書の消防署への提出	着工10日前	工事担当者	遵守	2024/8/31
フロン類の使用の合理化及び 管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第19条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO2-t/年以上、事業所所管大臣への報告	年1回	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
	第5条	○定期点検の実施 エアコン：7.5kW以上50kW未満 冷蔵機器、冷凍機：3.7kW以上 ○エアコンの簡易点検	1回/3年 1回/年 1回/3ヶ月	環境管理責任者 環境管理責任者 環境管理責任者	遵守 遵守 遵守	2024/8/31 2024/8/31 2024/8/31
浄化槽法	第5条	○浄化槽の設置の届出	着工21日前	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
	第10条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施	年1回	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
	第11条	○年1回の水質検査実施		環境管理責任者	遵守	2024/8/31
特定化学物質の環境への排出量 の把握等及び管理の改善の促進 に関する法律	第5条	○化学物質の排出量、使用量の把握	必要時	環境管理責任者	該当なし	2024/8/31

○環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年9月1日より2024年8月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

(2) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果(条例)

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者 工事担当者	遵守	2024/8/31
高知市火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	工事担当者	遵守	2024/8/31
南国市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	該当なし	2024/8/31
	第28条	○事業者の地球環境保全への取組		環境管理責任者	該当なし	2024/8/31
香南市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	該当なし	2024/8/31
四万十町環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	該当なし	2024/8/31
四万十市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 環境負荷の低減、その他環境保全	必要時	環境管理責任者	遵守	2024/8/31
四万十市四万十川の保全及び 振興に関する基本条例	第7条	○景観保全に関する届出 ・土石の採取 ・盛土、切土による土地の形状変更 ・屋外において土石、廃棄物、再生資源、 再生部品の蓄積、貯蔵する行為 ・天然林を伐採し、スギ・ヒノキの植樹 ・看板、広告板、ソーチライト照明等の設置	必要時	工事担当者	遵守	2024/8/31
幡多西部消防組合火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	工事担当者	該当なし	2024/8/31
仁淀消防組合火災予防条例	第46条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量未満の危険物等の貯蔵又は取り扱い)	必要時	工事担当者	遵守	2024/8/31

○環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年9月1日より2024年8月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

12. 代表者による全体評価と見直しの結果

■定期見直し

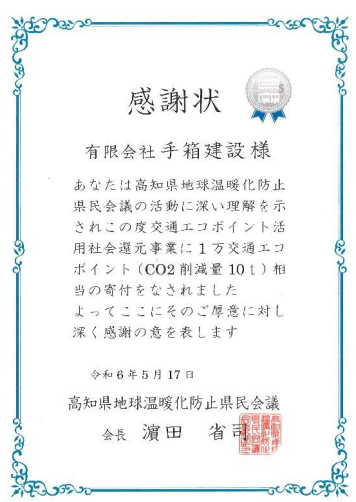
□臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し																																																	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項																																																	
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規への違反はなし ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 発生なし ③前回までの代表者の指示事項への対応 化石燃料の使用量が目標を達成できており効果が出ている。電気料使用量・CO ₂ 排出量も目標を達成できており取組を評価できる結果が出ている。 電力使用量においては太陽光発電により4,750kWhの電力を利用できており、CO ₂ 排出量の抑制ができています。 年間を通じて、1,2月の消費電力が最も多く夏場の1.5～2.5倍となっているが、今後も環境活動を継続して行い二酸化炭素の排出を抑えるよう努力する。 <改善提案> 特になし				【環境経営方針】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 環境経営理念及び方針共に問題なく実施され、特に変更の必要はないと判断する。																																																	
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値 達成状況</th> <th>経営計画 達成状況</th> <th>コメント (目標値、活動計画に対するコメント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン使用量削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>達成出来た。使用料目標対比98%</td> </tr> <tr> <td>軽油使用料削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>達成出来た。使用料目標対比92%</td> </tr> <tr> <td>電気使用量削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>目標対比99%、達成。太陽光発電効果あり。</td> </tr> <tr> <td>CO₂排出量削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>目標対比89%、達成出来た。</td> </tr> <tr> <td>用水使用量削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>今後も継続する。</td> </tr> <tr> <td>一般廃棄物排出量削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>ミスコピーを無くし再利用促進</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物排出量削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>達成出来た。排出量目標対比73%</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物資源化率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>計画活動により再生資源化100%達成</td> </tr> <tr> <td>グリーン購入量</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>目標達成は厳しいが継続して努力する。</td> </tr> <tr> <td>環境負荷の少ない工事</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>施工計画時に把握され配慮が行われている。</td> </tr> <tr> <td>環境美化活動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>今後も継続する。</td> </tr> </tbody> </table>				目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	ガソリン使用量削減	○	○	達成出来た。使用料目標対比98%	軽油使用料削減	○	○	達成出来た。使用料目標対比92%	電気使用量削減	○	○	目標対比99%、達成。太陽光発電効果あり。	CO ₂ 排出量削減	○	○	目標対比89%、達成出来た。	用水使用量削減	×	○	今後も継続する。	一般廃棄物排出量削減	○	○	ミスコピーを無くし再利用促進	産業廃棄物排出量削減	○	○	達成出来た。排出量目標対比73%	産業廃棄物資源化率	○	○	計画活動により再生資源化100%達成	グリーン購入量	×	○	目標達成は厳しいが継続して努力する。	環境負荷の少ない工事	○	○	施工計画時に把握され配慮が行われている。	環境美化活動	○	○	今後も継続する。	【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】 変更の必要性： ☒ 有 ☐ 無 今年度についても、全従業員に環境活動への意識向上が見られ、基準年に対しての目標は概ね達成されている。しかし、これまでの年度毎の実績数値を確認していくと、今後、現在の目標値（縮減率）による環境活動を継続することは困難と推測される。 このため、次年度からの環境経営目標（縮減率）等を見直し、その目標達成に向け、経営計画を立案し全従業員により取り組む。 なお、環境経営目標値については、2023年度の実績が直近4年間のほぼ平均となっているため、基準年を2023年に決め毎年1%の縮減を図ることとする。 用水使用量については、近年の猛暑日の増加による熱中症発生防止のため無理のないように節水する。	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)																																																		
ガソリン使用量削減	○	○	達成出来た。使用料目標対比98%																																																		
軽油使用料削減	○	○	達成出来た。使用料目標対比92%																																																		
電気使用量削減	○	○	目標対比99%、達成。太陽光発電効果あり。																																																		
CO ₂ 排出量削減	○	○	目標対比89%、達成出来た。																																																		
用水使用量削減	×	○	今後も継続する。																																																		
一般廃棄物排出量削減	○	○	ミスコピーを無くし再利用促進																																																		
産業廃棄物排出量削減	○	○	達成出来た。排出量目標対比73%																																																		
産業廃棄物資源化率	○	○	計画活動により再生資源化100%達成																																																		
グリーン購入量	×	○	目標達成は厳しいが継続して努力する。																																																		
環境負荷の少ない工事	○	○	施工計画時に把握され配慮が行われている。																																																		
環境美化活動	○	○	今後も継続する。																																																		
<改善提案> 今年度についても基準年に対しての目標値にはほぼ達成しているが、毎年実績値と目標値の間に乖離がみられる。このまま2020年を基準年として、現在設定している目標では、今後の実績数値とは、そぐわない恐れがある。そのような理由から次年度以降の数値目標については、一度見なおすことを提案する。				【その他】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 特になし																																																	
【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より 苦情なし ②環境関連法規制等の動向他 特になし <改善提案> 特になし				【総括】 一部項目に目標値に達していないものもあるが、CO ₂ 排出量削減に関する項目に関しては、目標値達成できていることは評価できる。 今後、目標値を見直し、改めて環境活動計画を策定し、新たな目標に向け活動していくこととなる。 まず、取組方法として、設備の入れ替えは、省エネ機器等の導入を進め、また従業員教育を含めた社内でのコミュニケーションを重視し、環境管理責任者を中心として、従業員各自が環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚できるよう、有意義な環境活動を目指していただきたい。 環境への取組は有効に継続されていると評価し、エコアクション21は有効に機能していると判断する。																																																	
代表者が自ら得た情報																																																					
特になし																																																					

13. その他の取組

1. 自然保護団体への支援

支援団体	支援内容	支援年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業 (毎年度継続して行っています。)	2024年
公益社団法人 高知県森と緑の会	「緑の募金」へ寄付 (毎年度継続して行っています。)	2024年



(高知県地球温暖化防止県民会議県民事務局)
「NPO法人 環境の杜こうち」からの感謝状

2. 環境イベント支援

支援イベント名	実施年月
「社会貢献の森」における森林整備等の活動	2023年12月



千ヶ谷森づくり事業に従業員が参加し
森の下草刈りを行いました。

千ヶ谷森づくり事業
(2023年 12月実施)